

# オペレーションズ・リサーチ—経営の科学—

## —バックナンバーのご案内—

### 2001年 (Vol. 46)

- 8月号 電力自由化を巡る新ビジネスの展開
- 7月号 建築のOR
- 6月号 DEAモデルとその応用
- 5月号 サポートベクターマシン：その仕組みと応用  
—分類手法の新展開—
- 4月号 シミュレーションの数理：最近の動向
- 3月号 企業事例
- 2月号 認識・感情・意思決定
- 1月号 空間データ：最近の整備動向と新たな活用

### 2000年 (Vol. 45)

- 12月号 データ解析コンペティション  
—金融マーケティング—
- 11月号 ヒューマンエラーからのリカバリ
- 10月号 暗号は社会を変える
- 9月号 最適配置問題
- 8月号 企業事例
- 7月号 次世代道路交通システム—ITS—
- 6月号 スケジューリングの革新的アルゴリズム  
—ラグランジュ分解・調整法—
- 5月号 金融・証券ビジネスとOR
- 4月号 中堅・中小企業における戦略的情報化
- 3月号 アルゴリズム工学
- 2月号 論文・事例研究 論文・研究レポート
- 1月号 経営学におけるゲーム理論と決定理論

### 1999年 (Vol. 44)

- 12月号 少子・高齢化問題II
- 11月号 企業事例
- 10月号 パートナリング
- 9月号 少子・高齢化問題
- 8月号 ソフトウェア信頼性評価法の新潮流
- 7月号 医療システムとOR
- 6月号 サプライチェーンマネジメント
- 5月号 大域的最適化
- 4月号 地球環境問題、わが国の戦略
- 3月号 スポーツの戦術とマネジメント
- 2月号 不動産業の再生と不動産学への期待
- 1月号 AHPの発展経緯と最近の話題

### 1998年 (Vol. 43)

- 12月号 データウェアハウスとデータマイニング
- 11月号 企業事例
- 10月号 GIS (地理情報システム) の活用事例
- 9月号 BOT—巨大プロジェクト実現の組織
- 8月号 季節変動のマネジメント
- 7月号 社会科学における計量・数理分析の潮流
- 6月号 自然災害と防災研究
- 5月号 待ち行列理論の最近の応用
- 4月号 官庁統計
- 3月号 公益事業における規制緩和
- 2月号 ユーザのための数理計画応用
- 1月号 業務改革のための原価管理：ABCとABM

### 1997年 (Vol. 42)

- 12月号 高校生のためのOR(2)
- 11月号 電子マネー
- 10月号 組織システム論の新たな展開
- 9月号 多主体複雑系のパラダイム
- 8月号 通信・情報処理分野におけるORの実践
- 7月号 組織知能と情報ネットワーク企業
- 6月号 文科系のためのOR教育
- 5月号 ORの適用事例
- 4月号 ビジネスプロセスの分析手法
- 3月号 流通の今日的課題と展望
- \* 2月号 企業事例—トヨタの生産システム
- 1月号 都市構造と省エネルギー

### 1996年 (Vol. 41)

- 12月号 ゲーム理論の新たな展開と最近の適用例
- 11月号 オプション理論とその周辺
- 10月号 グループウェアとワークフロー
- 9月号 ピーク電力の予測
- 8月号 論文・事例研究 論文・研究レポート
- 7月号 統計モデル選択
- 6月号 ユーザのための数理計画入門
- 5月号 知的生産性向上
- 4月号 巨大プロジェクト
- 3月号 高校生のためのOR
- \* 2月号 危機管理と対策

\*印は品切れ。価格950円(本体922円) [Vol. 42 4月号からは定価970円(本体924円)]

**(社)日本OR学会**

〒113-0032 文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
Tel. 03(3815)3351(代) Fax. 03(3815)3352

平成 13 年 9 月

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
会 員 各 位

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会

## 平成13年度第2回OR企業フォーラムのご案内

平素は当学会の諸活動に対し格別のご支援・ご協力を賜りまことにありがとうございます。お蔭様でORの諸活動は産・官・学各界にわたり、さらなる充実を目指した広範な取り組みが展開されつつあります。

その一環として1987年より「OR企業サロン」を創設し実施してまいりました。これは賛助会員企業のトップ経営者／ミドル管理者を主な対象として、当学会から効果的な経営戦略の策定・実施に真に役立つようなORおよび関連領域の話題を提供し、あわせてご参加の皆様との交流を深めていただくことを目的とした企画であり、幸い多数の方々からご好評をいただいております。さらに、現在は対象者を広く一般学会員にもオープンにし、「OR企業フォーラム」という名称のもとに活動を続けております。

OR企業フォーラムは、講師の方の御講演をベースにOR研究の対象であるオペレーションそのものの理解を深め、さらに会員各位の課題解決のヒントにさせていただくという趣旨で進めております。

さて今日、急速に進展するIT(情報技術)革命のもと、あらゆる産業分野・生活分野でいわゆるIT化の波が押し寄せております。これらは、新たなビジネス機会を数多く生み出しておりますが、OR技術そのものが活用される場面がますます増大しております。

平成13年度は、計3回の企業フォーラムを実施します。第2回は、富士通株式会社の秋草社長をゲストスピーカにお招きしました。昨今、米国のIT産業の減速を受けて、一部ではITについて懐疑的な見方が出ていますが、企業経営もITを前提とした新しいマネジメントの時代に入りつつあります。そして、大きな動きとなりつつあるブロードバンド・インターネットは、この動きを加速するものです。「ITと企業経営」について、秋草社長からお話を拝聴し、今後の方向と広くORについて思いをめぐらしてまいります。経営管理者層の方々をはじめ、多くの方々に奮ってご参加いただけますようご案内申し上げます。

企画・運営: 「OR企業フォーラム」企画委員会

平成 13 年度 第2回 OR企業フォーラム(10月4日 東京)

テーマ：「ITと企業経営」

ゲスト・スピーカー：

富士通 株式会社 代表取締役 社長 秋草 直之 氏

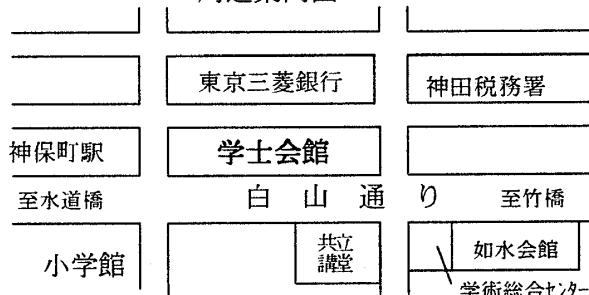
要 旨：最近、米国のIT産業の減速を受けて、ITについて懐疑的な見方が出ているが、これでITの技術進歩や利用が減速することはあり得ない。企業経営もITを前提とした新しいマネジメントの時代に入りつつある。そして、ブロードバンド・インターネットは、この動きを加速する。ここでは、当社の取り組みを中心に「ITと企業経営」についてご紹介する。

－ 開催要領 －

場 所：学士会館会議室 320 号室 (神田)  
千代田区神田錦町 3-28  
TEL(03)3292-5931

日 時：平成 13 年 10 月 4 日(木)  
午後 6:00～8:50  
(懇親会を 8 時から行います)

－ 周辺案内図 －



参加資格者：OR学会会員 参加費 (無料)  
(個人正会員、学生会員、賛助会員)

－ 学士会館までの交通機関 －  
地下鉄半蔵門線、都営三田線  
都営新宿線

－ 参加お申込みの要領 －

参加ご希望の方は学会事務局宛にお申し込み下さい。 神保町 (出口 A9) 徒歩 1 分  
なお、会場の都合により参加者を 100 名程度に限らせて頂きます。  
また賛助会員のご参加は各企業 3 名以内に限らせて頂きます。  
お申し込みは E-mail にても承っておりますので、必要事項 ( ①フォーラム  
の開催日 ②お名前 ③所属組織・部署名 ④会員種別 (個人正会員、学生会員、賛助会員)  
⑤連絡先住所 ⑥TEL または FAX 番号 ) をご明記のうえ、

日本OR学会事務局 ( forum@orsj.or.jp )  
までご一報下さい。(お申し込みは 9 月 25 日 (火) までをお願い致します)  
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 TEL(03)3815-3351 FAX(03)3815-3352

To: (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 FAX (03) 3815-3352

平成 年 月 日

「OR企業フォーラム」申込書

第2回《東京》平成 13 年 10 月 4 日(木) 午後 6:00～8:50

会員種別		御氏名	住 所 (連絡先)
いずれかに○印をして会員番号を記入してください		(勤務先・所属大学)	
個人正会員	( )	( )	〒
学生会員	( )	( )	TEL
賛助会員	( )	( )	FAX